

令和6年度 予算の概要等 (2024年度)

きょうそう つく
「共創」 共に創るまちづくりへ

 令和6年(2024年)5月
北海道むかわ町

町政執行方針及び
教育行政執行方針
↓全文はこちら↓



【むかわ町公式ウェブサイト】

おこ そこちから
**耕そう！「むかわの底力」で
わたしたちの未来へつなぐ**



未来を見据え、『次世代への投資』に主眼を置き、
『社会環境の変化』に対応するとともに町民の皆さんの
命と暮らしを守る日常の備えを固める
『事前防災及び復興』と『まちなか再生』を両輪とした
『防災対策先導のまちづくり』を推進します。

むかわ町長 竹中 喜之（たけなか よしゆき）



基本的な考え方

- ◇多様化・複雑化する課題解決に向け、『「共創」共に創るまちづくり』を行動指針に据えて取り組んでいきます。
- ◇事前防災及び復興とまちなか再生を両輪に防災対策先導のまちづくりを進めます。
- ◇国際情勢、少子高齢化や異常気象など、本町を取り巻く情勢を踏まえ、町民生活の安定を継続させる施策をベースに第2次むかわ町まちづくり計画前期基本計画の3つのプロジェクトを実行します。
- ◇社会課題であるDXやGXを加速化し、新たな時代を見据えた未来への課題にも向き合い対応していきます。



基本姿勢

「むかわの底力」で
まちを耕し、未来へつなぐ



基本政策

～5つの政策の柱～



－くらす－ 子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり



－ふせぐ・まもる－ 災害に強く、安全で美しいまちづくり



－はたらく－ 産業とまちに活力があり、笑顔を広げるまちづくり



－まなび－ 学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり



－つなぐ－ 様々なつながりを活かし、輝く未来をつくるまちづくり



1 くらすー 子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり

- ◇ 各種関連計画に基づき、子どもから高齢者まで、全ての町民の皆さんが健康で安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。
- ◇ 妊産婦が安心して健康な子を産み育てることができるよう産婦健康診査の費用助成や支援が必要な産婦を対象に産後ケア事業を新たに実施します。
- ◇ 子ども、子育て支援については、むかわ町子育て応援基金を活用し、引き続き「0～2歳児保育料無償化事業」に取り組むとともに、切れ目のない子育て支援システムの構築に向け、子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど、複数の機能を有する「多機能型子育て支援施設」を4月に開設しました。
- ◇ 医療体制については、鶴川厚生病院と穂別診療所との連携を推進するとともに効率的な地域医療体制の構築や救急医療体制の整備、医療従事者の確保などに努めます。
- ◇ 高齢者支援の充実については、「むかわ町ケアラー支援条例」で定めた基本理念の実現に向け、在宅介護手当の支給によるケアラーの精神的・経済的負担の軽減を図り、ケアラーに対する支援を強化し、福祉介護人材の確保については、介護従事者に対する新規就労時の支援制度を新たに創設しました。
- ◇ 移住定住対策を目的に創設した「くらふる事業」については、引き続き実施します。 等



2 ふせぐ・まもるー 災害に強く、安全で美しいまちづくり

- ◇ コロナ禍で得た教訓を基に、引き続き新興感染症などにも迅速に対応し、感染症流行下にあっても安定した医療の提供に努めます。
- ◇ 災害に強いまちづくりについては、被災時の被害を最小限にする対策を講じる「事前防災」と被災後に目指す復興のまちづくりを想定した「事前復興」の2つを柱に防災対策先導のまちづくりを進めます。
- ◇ 事前防災については、日常の防災訓練やタイムラインを活用した効果的な防災活動、防災教育の充実等を図ります。また、町民や団体、事業者などで構成する実行委員会による防災意識の啓発や防災・減災に関する意識付けや情報共有の場としてのイベント、(仮称)「防災とメディア研究会inむかわ」を開催します。
- ◇ 事前復興については、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による大規模災害を想定し、北海道で初となる津波避難対策を含めた「むかわ町事前復興計画」を策定します。また、生活に必要な機能を適正に配置しながら公共交通ネットワークと連動した持続可能なまちづくりを目指すため、「むかわ町立地適正化計画」を策定し、防災・減災対策を計画的かつ着実に取り組めるよう防災指針を定めます。
- ◇ 地域公共交通の充実については、持続可能な公共交通ネットワークを再構築するため、老朽化した町営バス車両の更新やバス路線の再編に取り組むとともに、穂別地区における新たな交通システム「ほべつサポート交通」の導入に向け支援します。
 - ・ GX（グリーン・トランスフォーメーション）の取り組みについては、上下水道分野における脱炭素化に向けた対応や公共施設のLED化を進めます。 等



3 はたらくー 産業とまちに活力があり、笑顔を広げるまちづくり

- ◇ 近年の生産資材価格等の影響による経営コストの増加、担い手や労働力不足など、地域農業への影響が懸念されることから地域農業活性化推進基金事業の運用方法を見直しを行うとともに、引き続き「水田農業緊急対策事業」を実施します。
- ◇ 担い手の確保や労働力不足対策については、トマト等の二毛作による新規参入型の育成システムの充実や第三者継承や雇用就農等の就農モデルの構築に向けた調査・研究を進めます。
- ◇ 災害に強く生産性の高い農業基盤を築くため、引き続き、国営かんがい排水事業の整備を促進するとともに必要な排水路整備を進めます。
- ◇ 林業の振興については、林業の持つ木材生産と環境保全という多面的機能の維持と再生を図るため、私有林等整備促進事業、民有林振興対策事業など民有林の整備を引き続き支援します。
- ◇ 町有林の造成及び管理を適切に行うとともに、町有林から創出されるJークレジットの販売に向け、令和6年度内に認証取得します。
- ◇ 鳥獣被害の対応については、農業では国の補助事業による侵入防止柵整備の採択に向けて取り組み、林業では鳥獣被害森林再生実証事業を実施し、捕獲後の処分対策など、安心して活動できる仕組みを構築します。
- ◇ 水産業の振興については、漁業経営の安定と所得の維持を図るため、ホタテ稚貝放流事業を支援します。
- ◇ 危機的状況にある鵜川ししゃもは、「鵜川ししゃも資源再生調査研究会」を中心とした基礎的調査などを進め、鵜川ししゃもの再生に向けた町ぐるみの運動展開を図っていきます。
- ◇ 新産業の創造や雇用の創出については、ラピダス社の進出に伴う影響や効果を分析し、企業誘致条例の見直しを図り、民間事業者などとの連携体制の構築に取り組むとともに、新規起業や商品開発、販路拡大などを支援するため「起業力耕上促進事業」を充実していきます。
- ◇ 観光振興や地域資源の活用については、ふるさと納税返礼品につながる新たな商品開発に取り組むとともにむかわ町観光協会やむかわ地域商社などで構成する新たな組織「（仮称）むかわ町観光推進会議」を設置し、持続可能な観光地域づくりに取り組みます。 等



4 まなぶー 学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり①

- ◇ 教育、文化の分野については、「むかわ町教育大綱」の基本理念のもと、教育委員会との円滑な連携を図りながら、学校教育や生涯学習等の充実を図っていきます。
- ◇ 学校教育については、専門的な知見を有する地域活性化起業人を活用し、次代を見据えた「むかわ町教育魅力化プロジェクト」を推進していくとともに、探求型ふるさと学習「むかわ学」の全体化を図るとともに、小・中・高における教育の体系化を進めます。
- ◇ ICTを活用した教育の環境整備については、GIGAスクール構想に基づき、各小学校にパソコンを整備し、ICT機器の積極的な活用を進め、新たな授業モデルの構築に取り組みます。



4 まなぶー 学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり② 《前ページの続き》

- ◇ 教育環境については、町内全ての小中学校にエアコンを設置し、夏休み期間の弾力的な運用を図ることで、児童・生徒の健康面に配慮し、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進します。
- ◇ 鶴川、穂別両高等学校の魅力化については、「地域みらい留学」への参加など、道外の生徒募集への支援を行うほか、通学利便性を向上する取り組みや穂星寮への運営支援などを行います。
- ◇ 生涯学習の充実については、部活動の地域移行に向け、地域おこし協力隊を活用しながら段階的な移行を進めるとともに、多様な世代の方々がスポーツ、文化、健康づくりに気軽に参加する機会を充実するため「みんなの生涯学習事業」を新たに実施します。 等



5 一つなぐー 様々なつながりを活かし、輝く未来をつくるまちづくり

- ◇ 未来を見据えた持続可能なまちづくりを進めるために、これまで培ってきた多様な「つながり」を活かし、町民、事業者、行政が一丸となって共に取り組んでいきます。
- ◇ 第2次まちづくり計画の前期基本計画の目標年次としている令和7年度に向け、多様化、複雑化する課題を踏まえ、計画全般の見直し作業に着手します。
- ◇ 関係人口の創出、拡大については、恐竜化石が縁で「つながり」のあるリトアニア共和国（アクメネ地域市）との交流、姉妹都市である富山県砺波市との交流事業、「にっぽん恐竜協議会」「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」などとの交流活動のほか、北海道大学総合博物館をはじめ、むかわ町と関わりのある関係大学との連携も深めます。
- ◇ 東京圏におけるむかわ町と縁のある方々で構成する新たな組織の設立に向けた調査・研究を進めるとともにカムイサウルスが橋渡しとなった沖縄県とのつながりの深化など、更なる関係人口の創出・拡大に努めます。
- ◇ まちなか再生プロジェクトについては、穂別地区の「復興拠点施設等整備事業Ⅰ」では、町民、地元事業者、NPO法人などと連携しながら、今年度中に拠点施設等整備の着工を目指します。
- ◇ 鶴川地区の「復興拠点施設等整備事業Ⅱ」では、整備すべき拠点の優先度を整理しながら、鶴川地区市街地全体の「エリアデザイン」の策定を進め、基本設計につなげていきます。
- ◇ 「タウンプロモーション推進プロジェクト」については、「むかわ町タウンプロモーション戦略」に基づき、町民の誇りと愛着を育む取り組みを推進し、PR大使との連携やトップセールスなど戦略的な情報発信に努めます。
- ◇ DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進は、デジタル技術を活用した町民の利便性の向上に向けた取り組みを進めます。
- ◇ 旧宮戸小学校の跡地活用については、校舎の一部を農業改良普及センター東胆振支所事務所として、今年度の利用開始に向け取り組み、通常時の地域振興につながる活用等、事前復興計画の策定と並行して有効な活用方を定めます。 等

基本的な考え方

むかわ町の教育目標である「海・川・山の豊かな自然を生かし、人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」ことを基調とし、むかわ町教育大綱の方針に基づき、各施策を推進します。

教育目標

「海・川・山の豊かな自然を生かし、
人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」

1 学校教育

- 教育分野における地域活性化起業人を活用し、次の時代を見据えた「新たな教育目標の策定」に着手し、「むかわ学の全体化」や「小中高における教育体系化」など、むかわ町教育全体の魅力化に取り組めます。
- 各小中学校の普通教室等にエアコンを整備し、子どもたちが安全・安心に学べる環境をつくりまします。
- 「教育指導参事」を新たに配置し、学校運営全般について、より専門的な指導と学力向上対策を実施します。
- 「家庭学習の手引き」を作成・活用し、学校・家庭・地域が連携した取組を進めます。
- 小学校においては、チーム・ティーチングや専科指導など、よりきめ細かな指導を行います。
- 中学校においては、個々の能力に合った習熟度別少人数指導等にも取り組めます。
- 穂別地区においては、「小中一貫教育の導入」について、検討を進めていきます。
- G I G Aスクール構想によるICT教育・プログラミング教育を推進し、学校情報化優良校の認定を目指します。
- 広い視野と国際感覚を備えた人材の育成を目的とした「中高生オーストラリア派遣事業」を実施します。
- 「夢叶輪（むかわ）公営塾」を、学びの拠点として、生徒のニーズに応じた塾づくりに努めます。
- いじめを生まない教育活動を行うとともに、いじめ・不登校の未然防止や学級崩壊の予防をします。



学校教育

- 「特別支援教育相談員」による、カウンセリングや発達相談業務を充実させ、専門性が高くきめ細やかな特別支援教育を推進します。
- 学習面での補助を行う支援員や、学校生活の支援を行う介助員を継続して配置します。
- 校務支援システムを活用した、教職員の働き方改革を推進します。
- 町との包括連携協定に基づき、鷗川・穂別両高等学校の魅力化を支援するとともに、高校・大学・地域の連携を推進し、地域を担う人材の育成に取り組みます。
- 全国から鷗川高校へ留学してくる「地域みらい留学生徒」を、まち全体で受け入れ、地域の活性化につなげます。
- 町外から鷗川高校へ通学する生徒へ、ＪＲ定期券の給付を継続し、町外からの生徒確保を図ります。
- 穂別高校での小中高ふるさとキャリア教育推進など、穂別ならではの取組を支援します。 等



社会教育

- 価値観やライフスタイルの多様化に対応し、「全ての町民が楽しく学べるまち」を目指します。
- 生涯を通じて自ら進んで豊かに学ぶ環境づくりを推進します。
- 子どもたちを守り育てる安全・安心な地域づくりを推進します。
- むかわの地域資源や良さに着目したふるさと教育である「むかわ学」を推進します。
- 多様な世代の方々がスポーツ、文化、健康づくりに気軽に参加する機会を充実するため「みんなの生涯学習事業」を新たに実施します。
- 「青少年リーダー研修事業」や「ジュニアチャレンジ合宿事業」など、青少年の育成を促進する取組を実施します。
- 平和教育事業として、中学生の「広島平和の旅派遣事業」を継続します。
- ふれあい大学やことぶき学級等、成人や高齢者教育を推進します。
- 文化協会、体育協会、ＮＰＯ法人「むーブ」へ支援し、文化・スポーツ活動を推進します。
- 中学校の部活動地域移行については「むーブ」と連携しながら、本町に適した取り組みを進めます。
- 総合文化祭・町民文化祭の開催や歴史的文化遺産の保存活用を図ります。
- 生涯学習基金を活用した指導者養成や活動支援、全道・全国大会への出場支援を行います。
- 穂別図書館及びまなびランド図書室の充実を図り、家庭教育の向上や地域文化等を高めます。
- 穂別博物館周辺リニューアル・複合的施設整備をより魅力的で、先進的な施設づくりを進めます。 等

令和6年度(2024年度)のむかわ町全会計の本予算総額 **137億5,576万円**

⇒前年度予算比較で5,147万円(0.4%)の増

- 『**共に創るまちづくり**』を着実に進めるため、主要な施策を基本政策ごとに
予算を編成
- インフラ整備及び長寿命化等に係る継続事業への確実な事業実施
各種計画等に基づく事業展開と安定的かつ、持続可能な運営への第一歩
- 「**人と自然が輝く清流と健康のまち**」を理念とし、
「**人とつながる、笑顔でつながる、未来へつながる むかわ**」

の戦略的な推進

(単位：億円)

	一般会計	特別会計	企業会計	合 計
令和6年度 (2024年度)	94.17	28.95	14.43	137.55
令和5年度 (2023年度)	92.73	27.14	17.17	137.04
比較増減	1.44	1.81	－2.74	0.51
増 減 率	1.6%	6.7%	－15.9%	0.4%

令和6年度(2024年度) 一般会計本予算総額 94億1,717万円

※ 各予算ごとに四捨五入しているため、
合算したときに合わない場合があります。

町 税 対前年度 ▲2,745万円
資材・燃油高騰等所得減少、償却資産の減少

地方譲与税等 対前年度+2,289万円
森林環境譲与税等の増加

地方交付税 対前年度+1億5,500万円

分担金、使用料等
対前年度 +1,322万円

国・道支出金 対前年度 ▲1億1,409万円
R 5 事業終了（旧消防鵜川支署、地球体験館解体工事等）に伴う対象補助金等の減少

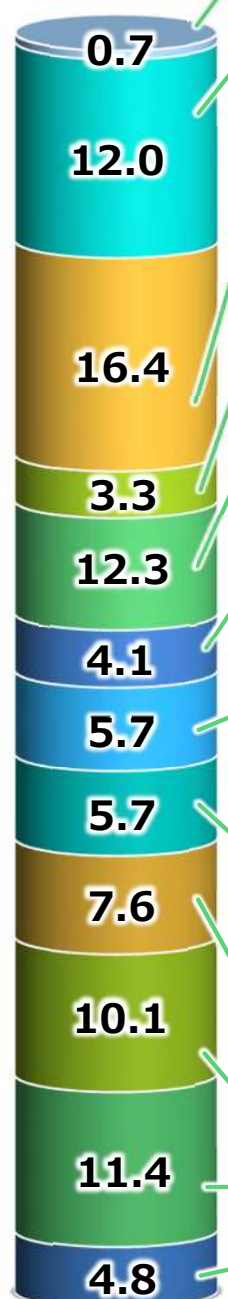
町 債 対前年度 +2,010万円
大型事業（国営かんがい排水事業排水路工事、穂別地区地デジ更改の事業等）による増

諸収入等 対前年度 +7,456万円

歳 入

歳 出

(億円)



議 会 費 対前年度 + 373万円

総 務 費 対前年度 ▲27,715万円
R 5 事業終了（旧消防鵜川支署、地球体験館解体工事等）に伴う減少

民生費 対前年度 +6,896万円
障がい者福祉事業に係る扶助、各特別会計への繰り出し等による増加

衛 生 費 対前年度 ▲954万円
感染症対策ワクチン接種事業の終了等による減少

農林水産業費 対前年度+3億9,658万円
基盤整備の事業等実施に伴う増加

商 工 費 対前年度 ▲695万円
地方創生臨時交付金活用等に伴う減少

土 木 費 対前年度 ▲4,279万円
除雪車両整備、公園遊具整備終了等による減少

消 防 費 対前年度 ▲4,976万円
防災行政無線機器更新等に係る費用の減少

教育費 対前年度 +3,730万円
各施設の維持管理・運営に係る物価高騰等による増加

公 債 費 対前年度 ▲768万円

給 与 費 対前年度 ▲942万円

諸支出金等 対前年度 +4,085万円

令和6年度
(2024年度)
一般会計予算

基本政策

01

く
ら
す

子育てしやすく 健康で安心して暮らすまちづくり

【新規事業】

【事業名】「在宅介護手当支給事業」

【担当：保健介護課】

【予算】219万円

【概要】町内で重度の要介護認定者を在宅で常時介護している方に対し、在宅介護手当を支給することにより、介護者の精神的及び経済的負担の軽減を図る。
・要介護3～5に該当し、常時介護を必要とする状態が継続して方を在宅で介護する町内に住所を有する方が対象。

【新規事業】

【事業名】「多機能型子育て支援施設開設事業」

【担当：福祉子育て課】

【予算】2,345万円

【概要】子育て支援センターと子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）の2つの機能を有し、切れ目のない子育て支援の実現を目指す。
・乳幼児のいる子育て中の親子の交流、育児相談、情報提供等の実施。
・児童の預かりの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動を実施。

【新規事業・町独自事業】

【事業名】「福祉介護人材就業支援事業」

【担当：保健介護課】

【予算】300万円

【概要】町内で事業を営む福祉事業所（介護事業・障害福祉事業を対象）の人材確保対策を促進するため、新たに就労するものに手当等を支給する事業者に対し、支援する。

【新規事業】

【事業名】 「産後ケア事業」
「産婦健康診査事業」

【担当：保健介護課】

【予算】 157万円

【概要】 【産後ケア】 出産後1年以内の母子に対し、心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる環境を整え、切れ目のない支援をする。
【産婦健診】 産後の母体の身体機能回復や産後うつ予防、虐待予防等を図るため、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査費の助成を行う。

【新規事業】

【事業名】 「高齢者福祉施設整備分析事業」

【担当：保健介護課】

【予算】 79万円

【概要】 高齢者が安心して生活することができるよう、医療機関等も含め、介護サービス等も含めた介護サービス等の需要等について、総合的に分析を行い、今後の高齢者福祉施設のあり方など、持続可能な「地域包括ケアシステム」を構築する。

（必要なサービス、施設の適正な配置や床数、運営規模等の分析）

【継続事業・町独自事業】

【事業名】 「くらふる事業」（移住定住促進事業）

【担当：経済建設課】

【予算】 5,400万円

【概要】 住環境の向上と移住・定住を促進するため、各種支援を実施する。

① 「マイホーム」（戸建て住宅取得奨励金事業）

② 「リノベーション」（戸建て住宅リフォーム奨励金事業）

※くらふる：暮らす＋ふるさとの造語

③ 「かみんぐ」（民間賃貸住宅家賃助成）

※各種助成条件等あります

④ 「すまいりー」（民間賃貸住宅（アパート等）建設促進助成金事業）

基本政策

02

ふ
せ
ぐ
・
ま
も
る

災害に強く、 安全で美しいまちづくり

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「事前復興計画策定事業」

【担当：情報防災対策室】

【予算】1,175万円

【概要】日本海溝・千島海溝周辺における大地震・大津波が想定され、本町も特別強化地域に指定されており、発災後、迅速かつ着実な復興を進めることができるよう、道内初の事前復興計画の策定する。

【継続事業】

【事業名】「防災行政無線機器更新事業」

【担当：情報防災対策室】

R5～R7年度の3カ年事業

【予算】6,938万円

【概要】防災行政無線の更新⇒子局6基整備（R6年度）

【継続事業】

【事業名】「ゼロカーボン推進事業」

【担当：町民生活課】

【予算】253万円

【概要】2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、ゼロカーボン普及啓発事業の実施、地域特性を活かした脱炭素化に向けた取り組み、家電買い換えリサイクル促進に対して助成を行う。

【関連事業】公共施設LED化の実施（別事業予算596万円）

・穂別中央生活館LED化工事

【長寿命化・新規事業】

【事業名】「公園整備事業」

【担当：経済建設課】

【予算】1,420万円

【概要】子ども達の遊び場である公園の遊具の安全性の確保、道民の森公園の施設更新、田浦野球場改修設計等。

【継続事業・長寿命化】

【事業名】「公営住宅長寿命化事業」

【担当：経済建設課】

【予算】4,013万円

【概要】公営住宅の長寿命化を図るため、屋根・外壁塗装を実施。

【継続事業】

【事業名】「Jークレジット推進事業」

【担当：農林水産課】

【予算】152万円

【概要】温室効果ガスを吸収する機能を持つ、森林資源の適正管理と循環利用を進め、持続的な林業の支援や森林吸収クレジットの取得。
→モニタリング調査、認証申請及び登録等

基本政策

03

は
た
ら
く

産業とまちに活力があり、 笑顔を広げるまちづくり

【継続事業・町独自事業・拡充】

【事業名】「水田農業緊急対策事業」

【担当：農林水産課】

【予算】5,000万円

【概要】復田する圃場の賃貸水田、水田農業の維持のため実施する緊急的な畦畔（けいはん）の補修等に要する費用の一部を支援する。

【新規事業・町独自事業】

【事業名】「農協青年部・女性部研修等支援事業」【担当：農林水産課】

【予算】120万円

【概要】地域農業維持及び発展、担い手育成と労働力不足対策として、若手農業者等の育成を図るため研修事業に対し支援。

【継続事業】

【事業名】「私有林等整備促進事業」（森林環境譲与税活用）【担当：農林水産課】

【予算】347万円

【概要】鳥獣被害森林再生実証事業の実施。

【継続事業】

【事業名】「有害鳥獣（ヒグマ、エゾシカ）対策事業」【担当：農林水産課】

【予算】948万円

【概要】ヒグマ駆除、エゾシカ駆除、共猟駆除報償 等

【継続事業・拡充】

【事業名】「ほたて稚貝放流事業」

【担当：農林水産課】

【予算】937万円

【概要】漁業経営の安定と所得維持を図るため、主力魚種による収入を補完を目的に、ほたて稚貝放流事業を支援する。

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「ししゃも生態等調査研究事業」

【担当：農林水産課】

【予算】100万円

【概要】記録的な不漁となっているししゃもの維持・回復に向けて、調査研究会を中心に海洋環境データ収集、基礎的調査を実施し、鵺川ししゃもの再生に向け、運動展開を図る。

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「プレミアム商品券発行事業」

【担当：経済建設課】

【予算】3,019万円（内、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,800万円を活用）

【概要】地元消費活性化促進事業として、プレミアム率30%の商品券を発行する町商工会を支援する。

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「まちなか再生事業」

【担当：総合政策課・企画町民課】

【予算】771万円

【概要】住民主体の検討会実施支援、賑わい創出事業補助、穂別サテライトオフィスの維持等

基本政策

04

ま
な
ぶ

学びを通して、 多様な人材を育てるまちづくり

【町独自事業・拡充】

【事業名】「高等学校魅力化推進事業」【担当：生涯学習課】

【予算】1,747万円

【概要】 鶴川高校、穂別高校それぞれの特色ある取組を支援する。
また、全国からの留学を受け入れる地域みらい留学募集や
鶴川高校の通学費助成等を実施する。

【継続事業】

【事業名】「GIGAスクールサポーター事業」【担当：生涯学習課】

【予算】194万円

【概要】 文科省が進めるGIGAスクール構想の実現に向けて、サポーター派遣
により、子ども達を誰ひとり取り残すことなく、教育現場を支援する。

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「鈴木章記念事業」

【担当：生涯学習課】

【予算】1,596万円

【概要】 北海道で初のノーベル化学賞を受賞した北海道大学名誉教授 鈴木 章 氏の出身地として、
世界へ力強く羽ばたく児童生徒を育成するため、大学等への進学奨励金の支給や中高生
向けの夢叶輪(むかわ)公営塾の運営、中高生のオーストラリア海外派遣を実施する。

【町独自事業】

【事業名】「生涯学習基金事業」 【担当：生涯学習課】
【予算】420万円
【概要】町民の皆さんが実施する生涯学習活動支援として、指導者養成のための派遣や、文化・スポーツ大会への参加費用の一部助成を行う。

【継続事業】

【事業名】「中学校部活動地域移行推進事業」 【担当：生涯学習課】
【予算】200万円
【概要】国による学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインの趣旨を踏まえ、段階的な移行を推進。

【新規事業・町独自事業】

【事業名】「町民体力づくり事業」 【担当：生涯学習課】
【予算】119万円
【概要】文化・スポーツ活動の充実に向け、関係団体との連携を深めながら、活動の底上げと活性化に向けた取り組みを進め、幅広い世代向けのスポーツ、文化、健康づくりの機会を充実するため、新たに「みんなの生涯学習事業」を実施。

基本政策

05

つ
な
ぐ

様々なつながりを活かし、 輝く未来をつくるまちづくり

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「官民連携推進事業」 【担当：総合政策課】

【予算】3,107万円

【概要】企業人材派遣制度を活用した地域力活性化起業人の活用、高・大・地連携事業の継続実施等。

【新規事業・町独自事業】

【事業名】「第2次むかわ町まちづくり計画の改定事業」【担当：総合政策課】

【予算】330万円

【概要】「第2次むかわ町まちづくり計画」後期基本計画（R8年度～）に向け、多様化・複雑化する課題に対応するため、計画の進捗状況、課題把握、各種新計画との整合性を図るため、改定作業に着手する。

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「自治区活動支援事業」

【担当：総合政策課・企画町民課】

【予算】1,158万円

【概要】両地区の地域イベントや自治区活動を支援する。

（鵜川ししゃもファミリー駅伝、穂別流送まつり、マザーズフォレスト、アリモリカップマラソン、つつじとアスパラの春祭り、銀河鉄道の里づくり、新生通沿道花壇整備など）

【町独自事業】

【事業名】「復興拠点施設等整備事業」

【担当：総合政策課】

【予算】183万円（事務費）

【概要】関係機関等協議、町プロジェクトチームの活動経費。

（復興拠点施設等整備事業Ⅰ）（ハード関係）

穂別地区の復興拠点施設等整備（エリア全体）～R6年度及びR7年度で整備。

（博物館、温浴施設、交流施設）

【継続事業・町独自事業】

【事業名】「恐竜プロジェクト事業」

【担当：経済恐竜ワールド戦略室】

【予算】2,446万円

【概要】恐竜ワールド構想の実現に向け、デジタル技術活用イベントの実施、町内外の機運醸成、周遊観光の促進、産業振興等の推進を図り、まちの魅力向上と関係・関心人口の創出・拡大につなげる。

【町独自事業・拡充】

【事業名】「タウンプロモーション戦略推進事業」

【担当：経済建設課】

【予算】686万円

【概要】まちの認知度向上と地域ブランドの確立、効果的な情報発信、まちの誇りや愛着心の醸成に向けたタウンプロモーション戦略プランを策定する。また、関係人口・交流人口の創出・拡大に向けた各種活動を展開する。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



むかわ町は
持続可能な
まちづくりを
進めています



むかわ町公認キャラクター むがるん

顔は甘くて美味しい「ほべつメロン」。
頭をかじっているのは
穂別地区で発見された「クビナガリュウ」。
むかわの野菜「レタス」のバッグには
好物の「生干しシシャモ」が入っているよ。 © 2016 むかわ町

「町長町政執行方針」及び「教育行政執行方針」の全文は、
むかわ町公式ウェブサイトに掲載しています。

【むかわ町公式ウェブサイト】<http://www.town.mukawa.lg.jp/3357.htm>

